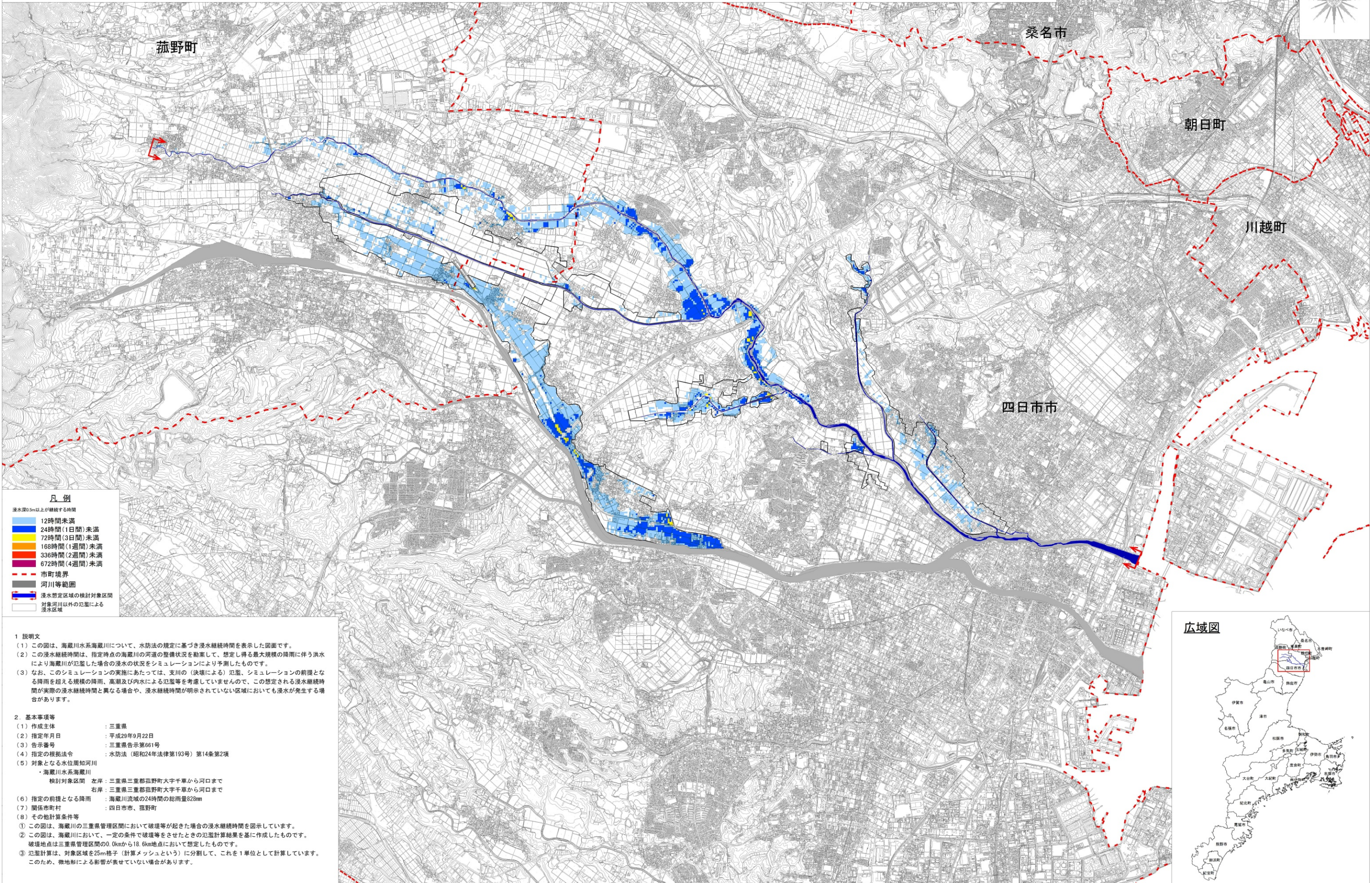
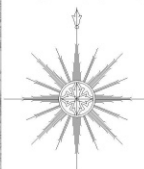


海蔵川水系海蔵川 洪水浸水想定区域図[浸水継続時間](想定最大規模)



凡例

浸水深0.5m以上が継続する時間

- 12時間未満
- 24時間(1日間)未満
- 72時間(3日間)未満
- 168時間(1週間)未満
- 336時間(2週間)未満
- 672時間(4週間)未満

--- 市町境界

--- 河川等範囲

--- 浸水想定区域の検討対象区間

--- 対象河川以外の氾濫による浸水区域

1 説明文

(1) この図は、海蔵川水系海蔵川について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。

(2) この浸水継続時間は、指定時点の海蔵川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により海蔵川が氾濫した場合の浸水の状態をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

2. 基本事項等

(1) 作成主体 : 三重県

(2) 指定年月日 : 平成29年9月22日

(3) 告示番号 : 三重県告示第661号

(4) 指定の根拠法令 : 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項

(5) 対象となる水位周知河川 : 海蔵川水系海蔵川

検討対象区間 左岸 : 三重県三重郡菰野町大字千草から河口まで
右岸 : 三重県三重郡菰野町大字千草から河口まで

(6) 指定の前提となる降雨 : 海蔵川流域の24時間の総雨量828mm

(7) 関係市町村 : 四日市市、菰野町

(8) その他計算条件等

① この図は、海蔵川の三重県管理区間において破壊等が起きた場合の浸水継続時間を図示しています。

② この図は、海蔵川において、一定の条件で破壊等をさせたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。破壊地点は三重県管理区間の0.0kmから18.6km地点において想定したものです。

③ 氾濫計算は、対象区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

